



## 口腔がん（含 舌がん）

（こうくうがん（ふくむ ぜつがん））



※内容を簡素に記載しております。詳しくは HP をご覧ください。

### 口腔がんとは

口腔がんとは、頭頸部がん（鎖骨より上部に発生するがんで、脳と眼球の腫瘍を除いたがんの総称）の一部で、口（口腔）に発生するがんの総称です。口腔がんも口の中の部位によって舌がん・口腔底（口底）がん・頬粘膜がん・下歯肉（下顎歯肉）がん・上歯肉（上顎歯肉）がん・硬口蓋がん・に細かく分類されます。

病理組織型のほとんどは扁平上皮がんです。また、病気の進行により首のリンパ節に転移することが知られています。

### 主な発生要因と症状

習慣的な喫煙や飲酒、齲歯（虫歯）や不適合義歯（合わない入れ歯）による慢性刺激、口腔内不衛生などが挙げられます。主な自覚症状は口の中の異物感、硬結（しこり）、しみる感じ、なかなか治らない口内炎、入れ歯が合わないなどがあります。進行すると、痛み、口の開けづらさ、飲み込みづらさ、出血、首のしこりなどが現れます。口の中は自分自身で十分観察できますので、気になった場合はまずは鏡で口の中を観察し、触ってみましょう。硬いしこりとして触れる場合は口腔がんの可能性がります。

### 診断と治療

確定診断のためには腫瘍の一部を採取し、顕微鏡で確認する病理検査が必要です。病変の浸潤や転移を確認するために、CT、MRI 検査などの画像検査を行います。治療は基本的に手術が最も確実とされます。

### 舌がんについて

舌がんは口腔がんの中で最も頻度が高いです。早期でも首のリンパ節に転移する可能性があることが知られています。特に初診時に画像検査上ではリンパ節の転移がない方でも、初回手術の後に遅れてリンパ節転移が明らかになってくるのが一定頻度であります。

